

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児看護学援助論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	竹内 美和	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
成長発達過程にある小児と家族の看護について、入院や検査・治療をはじめとし、健康段階や障害、在宅など様々な状況から理解する。 子どもと家族について、保険・医療・福祉・教育の面から多角的に考え子どもの権利条約と重ねて学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門基礎分野Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護 ナーシンググラフィカ 小児看護学 小児の発達と看護						
《授業外における学習方法》						
講義前に事前課題を提出する。また講義後は少テスト、ミニレポートの提出を行い、授業内容の予習・復習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
病気・障害をもつ子どもの環境について考えを深めることができるよう、こどもに関するニュース、記事を読む						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	病気や障害のある子どもは、症状や治療による様々な苦痛、悲しみ、 ストレスなどを伴う事について理解を深める	テキスト 配布資料		テキストで予習・復習を行 う
		各コマに おける 授業予定	病気、障害を持つ小児と家族の看護 病気・障害に対する子ども及び、家族の反応 小児の健康問題と看護			
第 2 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	病気や治療が長期にわたって続く事を理解し、健全な子どもとは異なる 生活環境について学びを深める	テキスト 配布資料		テキストで予習・復習を行 う
		各コマに おける 授業予定	慢性期の特徴			
第 3 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	各発達段階において適切な関わりができるよう、看護について知る	テキスト 配布資料		テキストで予習・復習を行 う
		各コマに おける 授業予定	慢性期における小児と家族と看護			
第 4 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	健康状態が急激に悪化することで、家族への責任と負担が重大でる ことを知る。	テキスト 配布資料		テキストで予習・復習を行 う
		各コマに おける 授業予定	急性期の特徴			
第 5 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	子ども家族への身体的苦痛について学びを深める	テキスト 配布資料		テキストで予習・復習を行 う
		各コマに おける 授業予定	急性期における小児と家族の看護			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	手術を受ける子どもは、成人とは異なる反応を示すことについて理解を示す	テキスト 配布資料	テキストで予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	周周術期の小児と家族の看護 周周術期の特徴・小児と家族の看護		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	終末期の子どもにおける様々な生活活動の制限を知り、不安・恐怖・孤独感を最小限に行えることの必要性について理解を示す	テキスト 配布資料	テキストで予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	終末期の小児と家族の看護 終末期の特徴・生命、死について小児のとらえ方 小児と家族の看護・小児をなくした家族の看護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	子どもの健康状態や看護ケアの必要性を判断することが可能である重要な技術であることを知る	テキスト 配布資料	テキストで予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	小児のアセスメント アセスメントに必要な技術 コミュニケーション、バイタルサイン、身体測定、		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	客観的なデータを提供するバイタルサインを測定する	テキスト 配布資料	テキストで予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	小児のアセスメント 身体的アセスメント 一般状態・眼・耳・顔面・鼻・口腔、呼吸、心臓、血管系		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	客観的なデータを提供するバイタルサインを測定する	テキスト 配布資料	テキストで予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	小児のアセスメント 腹部、筋・骨格系、神経系、生殖器、リンパ系、皮膚・爪・体毛		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な症状を示す小児の状態を把握することの重要性について理解を示す	テキスト 配布資料	テキストで予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	症状を示す小児の看護 不機嫌、啼泣、痛み、呼吸困難、チアノーゼ、ショック、意識障害		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な症状を示す小児の状態を把握することの重要性について理解を示す	テキスト 配布資料	テキストで予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	症状を示す小児の看護 痙攣、発熱、嘔吐、下痢、便秘、脱水		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	様々な症状を示す小児の状態を把握することの重要性について理解を示す	テキスト 配布資料	テキストで予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	症状を示す小児の看護 浮腫、出血、貧血、発疹、黄疸		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	人は常に環境との相互作用の中で生活をしていることを知り、それぞれの環境の中での家族看護について学びを深める	テキスト 配布資料	テキストで予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	外来診療や入院を必要とする小児と家族の看護 外来における小児と家族の看護		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	病院受診をする子ども及び家族への心理、社会的側面を知る	テキスト 配布資料	テキストで予習・復習を行う
		各コマにおける授業予定	外来診療や入院を必要とする小児と家族の看護 小児の入院と家族の看護		